

科目区分	専門教育科目	科目名	保育方法論 (実務家教員担当科目)		科目コード	19Y500	担当者	織田 芳人、本村 弥寿子			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	前期	単位数	2	担当形態	複数			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件	選択				
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目			教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）			免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保育の基本及び幼児教育に基づいた保育の方法について学習する。						1. 「尽心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・ 真摯性	② 多様性・ 協働性	③ 知識・ 技能	④ 表思考・ 創造力	⑤ 実主体性・ 自立性	⑥ 就業力・ 貢献力
1.	乳幼児期に育みたい資質・能力を育成するための保育の方法を理解する。										
2.	乳幼児教育の目的に適した指導技術を理解し身に付ける。										
3.	保育に適切な教材の作成・活用や情報機器の利用に関する基礎的な能力を身に付ける。										
4.							○	◎	○	○	
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（50%） 提出物（40%） 受講態度（10%）					
プリントを使用し、板書しながら講義を進める。内容によっては適宜グループを作り、ディスカッションを行う。											
課題等への対応						授業外学修時間					
教員が添削したものを授業の中で返却し、課題の内容を確認しなおす。定期試験は、合格点に達しなかったものは再試験を行うが、それでも達しなかった場合は不合格とする。						30分					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	オリエンテーション、幼児期にふさわしい保育の方法（本村）					3法令解説に目を通し、幼児期にふさわしい保育の方法を確認する。					
第2回	幼児期に育みたい資質・能力と幼児理解に基づいた評価（本村・織田）					カリキュラム論を振り返って予習し、内容を確認しておく。					
第3回	主体的・対話的で深い学びについて（本村）					授業後、3法令解説の該当部分を読み理解を深める。					
第4回	幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿と保育の方法（本村）					10の姿について、これまでの学習を振り返っておく。					
第5回	様々な保育形態と保育の方法（本村）					1年次に学んだ保育の形態について復習しておく。					
第6回	様々な保育場面の保育の方法①（生活場面の保育指導案構想）（本村）					カリキュラム論課題1を振り返り、様々な生活場面を取り上げておく。					
第7回	様々な保育場面の保育の方法②（設定された活動の保育指導案構想）（本村）					カリキュラム論課題2を参考に、設定保育の方法を数多く考えておく。					
第8回	様々な保育場面の保育の方法③（遊びの場面の保育指導案構想）（本村）					様々な遊びの場面とそれに応じた保育の方法を考えておく。					
第9回	教育実習での実践について（グループディスカッション）（本村）					授業後、様々な保育方法をまとめ、技術の高さを図る。					
第10回	情報機器と保育の方法（織田）					教材作成に必要な資料を収集する					
第11回	情報機器を使用した教材の作成①（織田）					教材作成の経過をまとめる					
第12回	情報機器を使用した教材の作成②（織田）					教材作成の経過をまとめる					
第13回	情報機器を使用した教材の作成③（織田）					教材作成の経過をまとめる					
第14回	教材の発表・意見交換（織田）					発表の活動をまとめる					
第15回	保育方法の学習の振り返り、まとめ					乳幼児期にふさわしい保育の方法について、考えをまとめておく。					
試験	定期試験を実施する										
教科書	なし				実務経験に関する情報	①経験内容	元幼稚園教諭・小学校教諭				
参考書等	幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領及びそれらの解説					②科目との関連	幼稚園・小学校教諭としての業務経験を基に実務に即した指導を行う				